



2019年10月1日

日本鉄道労働組合連合会

山梨県早川町「地域活性化ボランティア活動」

ボランティア通じて重ねた想い、築いた地域との絆

JR連合は、地域活性化にむけた政策提言「7つのパートナーシップ」に基づき、山梨県早川町のNPO法人日本上流文化圏研究所と連携し、2008年から年2回、同町保地区でボランティア活動を行っている。JR身延線沿線にある同町は、南アルプスの山々に囲まれた厳しい環境で、人口約1,000人と、年々過疎化が進んでいる。今回は9月28日から29日にかけて、JREユニオン、JR東海ユニオン、JR四国労組、貨物鉄産労の組合員総勢22名とともに、地域の活性化に資する作業に取り組んだ。

具体的には、保地区の方々と複数のグループに分かれ、農道やセギと呼ばれる道路脇の用水路にたまった枯葉や土砂の除去、休耕地などの除草、獣害電気柵周辺の整備などに汗を流した。

また、作業後には保地区の皆さんと交流会を行い、お互いの親睦を深めた。交流会の中では町の方より「JR連合の皆さんが来てくれた後は、数日間、町に活気が残っている気がする。また来年も来てほしい」といった絆の深さを感じられる声も聞かれた。

JR連合は、労働組合の社会的な役割に鑑みた重要な活動として、地域との関わりに積極的に取り組んでいく。

